

## カリキュラム・マップ

観光学部の教育目的
観光関連分野に関する広範囲で高度な学識を持ち、諸問題の解決を担う総合的な判断力と優れたリーダーシップを備えた有為な人材を養成する。

学修成果
<p>&lt;学部全体&gt;</p> <p>1) 観光学全般にわたって基礎的な知識を持ち、特定の分野で論理的な分析ができる。(「2.専門性」と関連)</p> <p>2) 異文化交流としての観光の意義について理解し、実際に異文化交流を実践できる。(「3.自己を理解し発展させる力」「5.他者を理解する姿勢」「8.国際性」「9.社会的実践力」と関連)</p> <p>3) 現実の諸問題を解決するための総合的な判断能力を持つ。(「1.リベラルアーツの素養」「3.自己を理解し発展させる力」「4.キャリア展望を確立する力」と関連)</p> <p>4) 現実の状況に対応して適切なリーダーシップを発揮できる。(「6.表現力」「7.リーダーシップ」と関連)</p> <p>5) 特に観光学科の卒業生は、「観光産業の経営」および「地域の計画」について専門的な知識と分析能力を持つ。(「2.専門性」「9.社会的実践力」と関連)</p> <p>6) 特に交流文化学科の卒業生は、「異文化交流」および「地域の計画」について専門的な知識と分析能力を持つ。(「2.専門性」「9.社会的実践力」と関連)</p> <p>※()内は「立教大学学士課程教育の学位授与の方針」に定める学修成果項目との関連を記載</p>

観光学部観光学科(課程)のカリキュラム				観光学部観光学科の学修成果との関連 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)					
新科目名	科目区分	配当年次	科目の学修成果	1) 基礎知識	2) 異文化交流としての観光の意義	3) 総合的な判断力	4) リーダーシップ	5)-① 観光経営	5)-② 観光地計画
観光学概論	必修 専門必修科目	1	観光学の基礎と多面性を理論と具体例から理解し、専門的な学習の土台を作る。	◎	○	○		○	○
基礎演習	選択 学科選択科目1	1	プレゼンテーションやディスカッションなどを通して、必修科目「観光学概論」で学修する理論やキーワード、観光現象などに対する理解を深める。	◎	○	○	○	○	○
観光史	選択 学科選択科目1	1	広く前近代から近代以降の観光(tourism)現象を俯瞰することで、社会において観光がもつ意義を歴史的に理解する。	◎					○
観光事業論	選択 学科選択科目1	1	観光学を学ぼうとする学生が、新しい時代の観光の経済的、社会的意義や目的、効果の全体像を把握し、学修の指針を自ら立てることを目標とする。	◎				◎	○
観光経済学	選択 学科選択科目1	2	観光の様々な経済的側面の分析を通じて、経済活動としての観光の様々な側面について理解を深める。	○		○	○	◎	○
観光経営学	選択 学科選択科目1	1	観光関連産業の実態を把握し、ヒトとモノの経営学的視点から基本的な考え方を学ぶ。	◎		○	△	◎	△
観光行動論	選択 学科選択科目1	2	人びとの心理・行動を理解するうえで必要とされる基礎的な知識を習得するとともに、観光現象やサービス提供場面における心理学的・行動学的な見方を、実例に即して学ぶ。	◎				◎	◎
マーケティング	選択 学科選択科目1	2	観光ビジネス、観光地づくりへの応用を視野に入れながらマーケティングの基礎的な知識やスキルを理解するとともに、現代の市場環境におけるマーケティングのあり方を考える。	◎		◎	△	◎	◎
観光地経営論	選択 学科選択科目1	2	観光地経営の実践についての理解を深め、地域の魅力の維持向上に結びつく運営管理のあり方について考察する。					○	◎
観光政策・行政論	選択 学科選択科目2	2	観光学を学ぶ一貫として観光に関する政策を学ぶことにより、わが国の行政制度の基本スキームを理解する。	○		◎	○	○	◎
経営戦略論	選択 学科選択科目2	2	「経営戦略とは何か?」について、歴史的背景、経営戦略の歴史的推移と今日的理論体系の基本を習得して、企業行動のあり方を学ぶ。	○		○	◎	◎	
観光計画論	選択 学科選択科目2	2	観光地・リゾートを計画するために必要と考えられる基本的な理念と計画の技法に関して、理解を深める。	○		○	○	○	◎
観光施設論	選択 学科選択科目2	2	旅館やホテル等の宿泊施設、遊園地やテーマパーク等の娯楽施設、料理屋やバー等の遊興施設に関する歴史や空間構成についての理解を深める。	○			○	○	◎
観光心理学	選択 学科選択科目2	2	観光における消費者行動や心理に関する理論と研究方法、事例について理解する。	○	○	○		○	○
地域経済学	選択 学科選択科目2	2	人口規模も経済活動水準もきわめて小さいある地域が多様な産業・人口を有する巨大都市となるプロセスを論理的に理解する。	○		○	○	○	◎
ホテル経営論	選択 学科選択科目2	2	ホテルの歴史的背景と社会的役割を踏まえ、ホスピタリティ産業の意味と観光立国における宿泊産業のなすべき役割をサービスとホスピタリティの視点と併せ学修する。	△		○	◎	◎	△
旅行産業論	選択 学科選択科目2	2	将来旅行業など観光産業を担う人材となるべく、市場の変化に伴う観光産業の課題、解決策について現場の実態を踏まえながら考察し、課題を追及して学ぶ。	△		○	◎	◎	○
風土と観光	選択 学科選択科目2	2	自然と社会・文化の相互作用の表れである風土は観光資源の基盤的存在であると捉え、多様な風土の特性を踏まえた観光のあり方について考え学ぶ。	○		○		○	○
観光感性論	選択 学科選択科目2	3	観光者・サービス提供者の行動・心理を理解するうえで、また観光者の立場からみた観光地づくりを進めるうえで必要とされる知識を修得する。	○	○	◎		◎	◎
消費論	選択 学科選択科目2	2	観光産業および観光地の経営に向けて、消費行動に関して、社会的・心理学的な基礎知識を習得する。	◎		○		○	○
国際観光政策論	選択 学科選択科目3	2	観光学を学ぶ一貫として観光に関する政策を学ぶことにより、わが国の行政制度の基本スキームを理解する。	○		◎	○	○	○
投資計画論1	選択 学科選択科目3	2	設備投資プロジェクトを遂行する上で必要な知識やスキルをホスピタリティ産業における実例に触れながら学ぶ。	○		○	◎	◎	○
企業情報分析	選択 学科選択科目3	2	観光産業を中心として、企業・産業・経済社会にわたる広範な情報の所在と情報の内容について学ぶことを通して、「数量的把握力」と「比較による理解力」を身につける。	◎		△	◎	◎	△
簿記論	選択 学科選択科目3	2	資格、資格、資格。観光系の資格も多々存在する。将来の自分のチカラとして必要な簿記もその一つである。検定試験合格を目指して学修する。	○		○	◎	◎	○
ホテル運営論	選択 学科選択科目3	2	ホテル経営論をベースに、主としてすべての収益部門を有する総合シティホテルの各部門組織体系と主な業務内容の特徴を総合的に学修する。				◎	◎	△



観光学部観光学科(課程)のカリキュラム				観光学部観光学科の学修成果との関連 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)					
新科目名	科目区分	配当年次	科目の学修成果	1) 基礎知識	2) 異文化交流としての観光の意義	3) 総合的な判断力	4) リーダーシップ	5)-① 観光経営	5)-② 観光地計画
外食産業論	選択 学科選択科目3	2	外食産業の基本的なデータ、歴史をふまえ、現状に至るチェーン化の原動力を解明し、産業としての全体像を学んでいく。	△		○	○	◎	
観光交通論(鉄道等)	選択 学科選択科目3	2	JR東日本など鉄道会社の営業施策、観光開発などについての事例を通して、観光における鉄道や鉄道会社の役割と課題について学び理解を深める。	△		○		○	○
観光交通論(国際航空)	選択 学科選択科目3	2	航空事業の実務と基本的な理論を理解する。	△		○		△	○
旅行産業演習1(A)	選択 学科選択科目3	2	将来の観光産業のリーダーとなりうる人材となることを目標に、観光産業や観光地の最新の動きを調査・研究し、議論する。			○	◎	◎	○
旅行産業演習1(B)	選択 学科選択科目3	2	将来の観光産業のリーダーとなりうる人材となることを目標に、観光産業や観光地の最新の動きを調査・研究し、議論する。			○	◎	◎	○
宿泊産業演習1(A)	選択 学科選択科目3	2	宿泊産業の社会的役割を学ぶとともに、多様化する宿泊業態とビジネスモデルについて実践的に研究する。			○	○	◎	
宿泊産業演習1(B)	選択 学科選択科目3	2	宿泊産業の社会的役割を学ぶとともに、多様化する宿泊業態とビジネスモデルについて実践的に研究する。			○	○	◎	
エコツーリズム論	選択 学科選択科目3	3	エコツーリズムの理論と実践を理解し、観光の課題とこれからの展望を考えるための基礎知識と広い視野を獲得する。	△		○			◎
都市観光論	選択 学科選択科目3	2	本科目は都市への理解を深めた上で、大都市における観光について解釈かつ評価を行い、都市再建と再開発における観光の重要性を検討する。	○				○	◎
市民参加とまちづくり	選択 学科選択科目3	3	市民参加とまちづくりに関する近年の動向や理論についての理解を深め、その実践のための基本的な手法を習得する。			○	○	◎	◎
サービス・マネジメント	選択 学科選択科目3	3	サービス産業には製造業とは異なる「サービス独自の経営理論と技法」が求められる。これまでの物財中心の経営学とは別のサービス経営学を学ぶ。	○			○	◎	
宿泊産業論	選択 学科選択科目3	3	観光地の宿泊施設(主に旅館)の経営課題と今後の方向性について、経営学、マーケティング、観光まちづくり、の3つの観点から理解を深める。				◎	◎	△
ホテルアセットマネジメント論	選択 学科選択科目3	3	時代背景の変化と共に大きく変貌したホテルビジネスの実態を、ホテル各収益部門(宿泊・料飲・宴会・ウェディング等)のマーケティング・商品企画と収益管理の視点から学修する			○	○	◎	△
コンベンション産業論	選択 学科選択科目3	3	観光とコンベンション産業の係り方、コンベンション開催地・施設のマーケティングのあり方について理解を深める。				○	◎	◎
経営財務論	選択 学科選択科目3	3	経営財務的な視点からビジネスの現状を把握・分析し、世の中の潮流について自ら考えることを総合的に学ぶ。				◎	◎	△
都市型エンターテインメント論	選択 学科選択科目3	3	レジャー産業の多様な分野のなかで、都市型のエンターテインメント分野に着目し、利用者(消費者)の視点からみた集客戦略や経営動向を理解する。				△	◎	◎
旅行産業演習2(A)	選択 学科選択科目3	3	将来の観光産業のリーダーとなりうる人材となることを目標に、観光産業や観光地の最新の動きを調査・研究し、議論する。			○	◎	◎	○
旅行産業演習2(B)	選択 学科選択科目3	3	将来の観光産業のリーダーとなりうる人材となることを目標に、観光産業や観光地の最新の動きを調査・研究し、議論する。			○	◎	◎	○
宿泊産業演習2(A)	選択 学科選択科目3	3	宿泊産業演習1A・Bでの学びをふまえ、現代の経営環境の下でめざすべき宿泊産業経営のあり方について、履修者自らがテーマを設定し、より具体的・実践的に研究をすすめる。			○		◎	○
宿泊産業演習2(B)	選択 学科選択科目3	3	宿泊産業演習1A・Bでの学びをふまえ、現代の経営環境の下でめざすべき宿泊産業経営のあり方について、履修者自らがテーマを設定し、より具体的・実践的に研究をすすめる。			○		◎	○
政策評価論	選択 学科選択科目3	3	政策評価の体系を確認した上で、政策評価の前提となる費用便益分析を中心とした理論と実際の方法を理解する。			◎	◎	○	◎
地域デザイン論	選択 学科選択科目3	3	地域開発が対象とする行政計画の枠組みを理解し、また地域の実践的な取り組みの構造を理解する。				◎	△	◎
環境・景観論	選択 学科選択科目3	2	景観・風景が単なる景色ではなく、人間と環境との間の現象であることを理解した上で、観光と関連した景観保全に関わる諸課題を知る。					△	◎
都市計画論	選択 学科選択科目3	3	生活、生産そして観光の場である都市について、その成立および変化のしくみを理解し、魅力的で活力ある都市づくりの理念と方法を学ぶ。				○	△	◎
施設・空間造形論	選択 学科選択科目3	3	施設や空間がもつ固有の美的魅力についてその鑑賞の仕方と社会的意義について理解する。	○				◎	◎
観光関連法	選択 学科選択科目3	3	観光産業に従事する者が知っている法律や命令、消費者との契約内容となる約款等の体系的知識を身につけ、その知識を利用する法的思考方法を習得する。現代社会で発生している観光産業に関する法的問題を概観する。			◎	◎	◎	○
投資計画論2	選択 学科選択科目3	3	プロジェクトファイナンスの仕組み及び周辺知識を学修することにより、大規模プロジェクトの計画、運営、金融等の手法を理解し経営的センスを高める。				◎	◎	◎
旅行情報システム	選択 学科選択科目3	3	旅行業界においてGDS(旅行情報予約システム)が果たしている役割を知り、今後の旅行産業の方向性を考察する。				◎	◎	△
旅行業経営実務	選択 学科選択科目3	3	将来、旅行産業・観光産業において経営者等中核的な人材育成を目標として、主に旅行業を取り巻く経営環境、それに対応する経営の実際、取り組むべき課題、将来像などを理解する			○	○	◎	
農村観光論	選択 学科選択科目3	3	農村の景観や生活文化などを資源とする農村観光について、歴史的経緯、事業形態、社会的意義について理解する。	○				◎	◎
ヘリテージと観光	選択 学科選択科目3	3	ヘリテージという語で示される対象について、その概念の変化や多様性を学び、観光との関わりの中で保全と活用がどのように議論され実施されているかについて理解を深める。	○				◎	◎
レジャー論	選択 学科選択科目3	3	レジャーの多様性と価値、現代社会におけるレジャーの意義と役割について理解を深める。	○	△	◎		○	○



観光学部観光学科(課程)のカリキュラム				観光学部観光学科の学修成果との関連 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)					
新科目名	科目区分	配当年次	科目の学修成果	1) 基礎知識	2) 異文化交流としての観光の意義	3) 総合的な判断力	4) リーダーシップ	5)-① 観光経営	5)-② 観光地計画
情報処理演習	選択 学科選択科目3	1	エクセル・統計処理ソフトを利用して、統計データに基づき基本統計量や相関、単純な回帰分析などの手法を習得する。	○		◎		○	○
地域経営論	選択 学科選択科目3	2	地域が抱える少子高齢化、過疎化の実態を把握し、地域振興を図るための経営的手法を理論と実証的側面から考察する。			○	◎	◎	◎
地域社会論	選択 学科選択科目3	2	地域社会におけるさまざまな問題を取り上げ、歴史的・文化的側面から理解を深め、その課題を解決していくためのあり方を考察する。		△	○	○	◎	○
GIS演習	選択 学科選択科目3	1	空間情報学の基本概念を把握した上で、実践的にGIS(地理情報システム)の仕組みと操作方法を修得する。	○		◎		△	◎
観光デザイン論	選択 学科選択科目3	3	観光の場面で目にする空間や施設、設備、什器、イベントなどあらゆる事象のデザインについて美的観点から理解する。	○	○		○	○	○
観光ビジネスプロジェクトA	選択 学科選択科目3	3	観光産業における経営力、企画力、マネージメント力を備えた即戦力的人材に必要とされる「実践で使えるビジネス知識」を身につける。プレゼンテーション能力や交渉力、グループワークの進め方、コミュニケーションスキルなどについても会得する。	○	○	○	◎	◎	△
観光ビジネスプロジェクトB	選択 学科選択科目3	3	観光産業における経営力、企画力、マネージメント力を備えた即戦力的人材に必要とされる「実践で使えるビジネス知識」を身につける。プレゼンテーション能力や交渉力、グループワークの進め方、コミュニケーションスキルなどについても会得する。	○	○	○	◎	◎	△
観光リスクマネジメント	選択 学科選択科目3	3	観光を取り巻く多様な危険の存在について認識するとともに、その回避と対処			○	○	○	○
フィールドワーク論	選択 学科選択科目3	2	フィールドワークの理論と方法を習得し、質的社会調査への理解を深める。	○		◎	◎		
宿泊ビジネスプロジェクト1(A)	選択 学科選択科目3	2	宿泊産業の概要、宿泊施設の業態、ビジネススキーム、オペレーショナルアセットという本質、外からは見えづらい構造、金融商品としてのホテルアセットなどを理解する。	◎	△	○	○	△	△
宿泊ビジネスプロジェクト1(B)	選択 学科選択科目3	2	宿泊ビジネスにおけるビジネスリテラシー、マネージメント力、マーケティング基礎知識などを伝え、「実践で使えるビジネス力」の基礎を身につける。グループワークや、プレゼンテーションを繰り返し、コミュニケーションスキルを磨く。	◎	△	◎	◎	△	△
宿泊ビジネスプロジェクト2(A)	選択 学科選択科目3	3	実際に販売される宿泊プランやデザート企画などを考案したり、ホテルや旅館取材して、記事を書くなど、より産業に近いところで学びと経験を深める。	◎	△	◎	◎	○	○
宿泊ビジネスプロジェクト2(B)	選択 学科選択科目3	3	グループワークで、新しいホテルの企画を策定し、プレゼンしてもらう。コンセプトがユニークで、魅力的な斬新なホテルを企画して、現役ホテル経営者やコンサル	◎	△	◎	◎	◎	◎
グローバル・スタディ・プログラム1	自由 学部自由科目	1	約2週間学部協定校に滞在し、各言語の基礎と渡航先の社会・文化を体験的に学ぶ。協定校学生と交流し、コミュニケーション能力を向上させる。	○	◎	○	◎		
グローバル・スタディ・プログラム2	自由 学部自由科目	1	約2週間学部協定校に滞在し、英語で観光の専門授業やフィールド・トリップを体験する。協定校学生と交流し、コミュニケーション能力を向上させる。	○	◎	○	◎	◎	
Introduction to Tourism 1	自由 学部自由科目	1	観光に関する英語の資料を使用したリサーチに必要な基本知識や技術を学ぶ。	○	◎	○	○	○	
Introduction to Tourism 2	自由 学部自由科目	1	Introduction to Tourism 1で学んだ知識と技術を確実に活用し、英語による資料作成や発表を訓練する。	○	◎	○	○	○	
Tourism Study 1 (Business)	自由 学部自由科目	2	英語で世界の観光事情(ビジネス)およびグローバルな観光の展開に関する知識を習得する。	○	◎	○		◎	
Tourism Study 2 (Society)	自由 学部自由科目	2	英語で世界の観光事情(社会)およびグローバルな観光の展開に関する知識を習得する。	○	◎	○			
Tourism Study 3 (Destination)	自由 学部自由科目	3	英語で世界の観光事情(観光地)およびグローバルな観光の展開に関する知識を習得する。	○	◎	○		◎	
Tourism Study 4 (Culture)	自由 学部自由科目	3	英語で世界の観光事情(文化)およびグローバルな観光の展開に関する知識を習得する。	○	◎	○			
Current Trends in Tourism 1	自由 学部自由科目	3	観光に関連する最新トレンドに関して調べ(英語&日本語資料)、英語でディスカッションする。	○	◎	◎	○	○	
Current Trends in Tourism 2	自由 学部自由科目	3	観光に関連する最新トレンドに関して調べ(英語&日本語資料)、英語でディスカッションする。	○	◎	◎	○	○	
観光特論(RT)	自由 学部自由科目	2	観光学に関する学外の専門家から、観光研究や観光実践の最先端を学ぶ。		○	◎		◎	◎
観光特論(TSE)	自由 学部自由科目	2	観光学に関する学外の専門家から、観光研究や観光実践の最先端を学ぶ。		○	◎		◎	◎
演習(2年)A	自由 学部自由科目	2	観光産業の経営ないしは観光地域の計画について、理論と実践の両面から専門的な知識と分析能力を学ぶ	○	◎	◎	◎	○	○
演習(2年)B	自由 学部自由科目	2	観光産業の経営ないしは観光地域の計画について、理論と実践の両面から専門的な知識と分析能力を学ぶ	○	◎	◎	◎	○	○
演習(3年)A	自由 学部自由科目	3	観光産業の経営ないしは観光地域の計画について、理論と実践の両面から専門的な知識と分析能力を学ぶ	○	◎	◎	◎	◎	◎
演習(3年)B	自由 学部自由科目	3	観光産業の経営ないしは観光地域の計画について、理論と実践の両面から専門的な知識と分析能力を学ぶ	○	◎	◎	◎	◎	◎
卒業研究指導A	自由 学部自由科目	4	大学における学修の集大成として、自らが設定した研究の内容を深める。	○	◎	◎	◎	◎	◎
卒業研究指導B	自由 学部自由科目	4	大学における学修の集大成として、自らが設定した研究の内容を深める。	○	◎	◎	◎	◎	◎



観光学部観光学科(課程)のカリキュラム				観光学部観光学科の学修成果との関連 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)					
新科目名	科目区分	配当年次	科目の学修成果	1) 基礎知識	2) 異文化交流としての観光の意義	3) 総合的な判断力	4) リーダーシップ	5)-① 観光経営	5)-② 観光地計画
卒業論文	自由学部自由科目	4	卒業論文及びそのベースとなる研究の課題設定、方法、文章表現、口頭発表等について、知識やスキルの向上を図る。	○	○	○	○	○	○
観光インターンシップ	自由学部自由科目	3	観光関連の業種(行政や観光協会・宿泊業等)の理解と実習を通して、観光関連の仕事に対する理解を深め、また観光学部で学ぶ知識との関連性を理解することで、観光学部で学ぶ動機を高める。			○	◎	◎	◎
長期海外インターンシップ	自由学部自由科目	2	海外企業での就業体験を通じて実践的に観光学を学び、理論の応用、自主性、問題解決力、異文化コミュニケーション力を身につける		○	◎	◎	◎	◎
経団連インターンシップ	自由学部自由科目	3	観光事業及び関連事業分野を念頭に、企業での実習やそれに先立つ学内事前研修を行い、実社会への理解とキャリアに関する意識を深める。			○	○	◎	
観光ビジネス概論	自由学部自由科目	2	日本の観光関連産業の現状や課題を学ぶことを通じて、観光関連産業の多様性とそこで働くことの意義について理解する。自らが希望する業種・業態の観光産業における位置づけを理解する。	○		◎	◎	◎	○
交通産業特論	自由学部自由科目	3	観光産業において重要な役割を果たす交通産業の現状と課題について理解を深め、観光産業の実践的業務知識について習得する。	○		○		◎	○
観光地づくり	自由学部自由科目	3	わが国の旅行・観光の実態から国内観光の基礎的な課題や今後のイノベーションの方向について理解する。	○		◎	○	○	◎
観光IT戦略論	自由学部自由科目	2	観光学部の学生が知っておくべきITの最前線を理解し、ITを活用した観光分野のイノベーションを考える。	○		○		○	○
データ情報処理	自由関連基礎科目	1	社会調査によって資料やデータを収集し、分析しうる形にまで整理していく方法を習得する。加えて、社会調査にかかわるパソコンスキルも習得する。			◎		○	○
法学1	自由関連基礎科目	1	国の最高法規である憲法について理解する。			○		○	○
法学2	自由関連基礎科目	1	民法を中心に権利擁護制度について理解する。			○		○	○
政治学	自由関連基礎科目	1	政治学の基礎について理解する。			○		△	○
経済学	自由関連基礎科目	1	日常生活における人間の行動と世の中の幸せを理解するのに役立つ経済学的な考え方を身につける。			○		◎	○
経営学	自由関連基礎科目	1	企業経営を理論的に解明することを目的とする学問である経営学の学問的な基礎を押さえつつ、実際のビジネスについて理解する。			○		◎	○
社会学1	自由関連基礎科目	1	社会学の基礎について理解する。			○		△	◎
社会学2	自由関連基礎科目	1	社会学の基礎について理解する。			○		△	◎
心理学1	自由関連基礎科目	1	ひとの一生の軌跡を、生涯発達心理学の視点から理解する。			○		◎	○
心理学2	自由関連基礎科目	1	現代のわが国における子ども・家族の心理臨床的諸問題について理解する。			○		◎	○
地理学1	自由関連基礎科目	1	日本列島における地形・水文・気候といった自然環境と、そこで生活する人々との関わりを理解する。			○		○	◎
地理学2	自由関連基礎科目	1	GIS・リモートセンシングなどの基礎となっている地理情報科学について、その歴史や原理、地理学への応用を理解する。			○		○	◎
日本史1	自由関連基礎科目	1	19世紀後半～20世紀初頭における日本近代史を近代国家建設の過程や国際関係を中心に概観しながら、戦前の国家体制について理解する。			○		○	○
日本史2	自由関連基礎科目	1	1930年代以降の日本近現代史につき、政治外交史を中心に概観し、なぜ、日本が戦争の道を進んでいったのかを理解する。			○		○	○
外国史1	自由関連基礎科目	1	歴史学は時間のスパンで物事を見ていくという一つの認識方法であることを、具体的歴史事象から理解する。			○		○	○
外国史2	自由関連基礎科目	1	歴史学は時間のスパンで物事を見ていくという一つの認識方法であることを、具体的歴史事象から理解する。			○		○	○
地誌学	自由関連基礎科目	1	日本地誌を通して、国土構造のあり方に関心を払いながら、現実には起きている多様な現象への認識を深め、考えることができるようにする。			○		○	◎
生涯学習概論1	自由関連基礎科目	1	生涯学習概念を社会教育との関連で把握し、多様な学修機会に注目することによって生涯学習概念を具体的に理解する。			○		△	△
生涯学習概論2	自由関連基礎科目	1	生涯学習概念の基礎的理解を前提として、社会的要請にもとづく生涯学習を具体的に理解する。			○		△	△
生涯学習支援論1	自由関連基礎科目	1	生涯学習者を育む学習支援の理論を学び、学習プログラムづくりのプロセスデザインを体験することで、学習支援者に求められる実践力の基盤を形成することができる。	○		○	○		
生涯学習支援論2	自由関連基礎科目	1	生涯学習者を育む学習支援の理論を学び、学習プログラムづくりのプロセスデザインを体験することで、学習支援者に求められる実践力の基盤を形成することができる。	○		○	○		
社会教育経営論1	自由関連基礎科目	1	地域づくりを支える社会教育の姿を「経営」の視点から概観することで、社会教育に期待される担い手づくりとコーディネート機能について理解を深めることができる。	○		○	○		
社会教育経営論2	自由関連基礎科目	1	地域づくりを支える社会教育の姿を「経営」の視点から概観することで、社会教育に期待される担い手づくりとコーディネート機能について理解を深めることができる。	○		○	○		
自然地理学	自由関連基礎科目	1	自然地理学の本質的な点、重要な方法論と調査技術を使って、世界の環境の基礎知識を身につける。			○		△	◎
文学	自由関連基礎科目	1	言語表現による芸術作品の鑑賞の仕方を身につける。	○	○				○
哲学	自由関連基礎科目	1	問題の発見や諸概念の明確化、命題の関係の整理といった概念的思考を通じて多様な主題について検討する能力を養う。	○	○			○	◎

観光学部観光学科(課程)のカリキュラム				観光学部観光学科の学修成果との関連 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)					
新科目名	科目区分	配当年次	科目の学修成果	1) 基礎知識	2) 異文化交流としての観光の意義	3) 総合的な判断力	4) リーダーシップ	5)-① 観光経営	5)-② 観光地計画
人類学	自由関連基礎科目	1	人類学に関する基礎と研究領域、研究手法について理解する。	○	○				
美学	自由関連基礎科目	1	美の基準、美はなんのためにあるのかという美の価値を問う能力を養う。	○	○		○	○	○
民法	自由関連基礎科目	1	個人間の財産上・身分上の関係など、市民相互の関係について民法を通して理解する。	○	○	○	○	○	○